



2月の園だより

令和8年1月27日

杉並区立成田西子供園

園長 齋藤 由美

『諦めない力を育てる』

副園長 小森 三奈子

早いもので、今年度も残すところあと2ヶ月となりました。年長児は小学校への進学、年中・年少児は進級を控え、どの学年の子どもたちも、ぐっと大きく成長している姿が見られます。

さて、まもなく年長組が歌う予定の歌に、「ね」という曲があります。その中には、「うまくいかないときもあるけどもういちどやってみたらできた!」という歌詞があります。この歌詞のような姿は、園生活の中でよく見られます。

幼児期は、生きる力の基礎となる部分を育てる大事な時期です。子どもたちは遊びや生活の中で、様々なことを経験します。その中で、もちろん楽しいこともあれば、時にはうまくいかないことや、難しいことにも出会います。しかし、そこですぐに諦めたりしてしまうのではなく、頑張る力（諦めない力）が大切です。そして、この諦めない力は、幼児の「やってみたい」という思いと、「自分ならできる」という自信や、何度挑戦しても大丈夫という安心感の中で育ちます。

子供園では、毎年コマ遊びをしています。コマは、それぞれの学年の幼児が「やってみたい」という思いをもち、楽しめるように、発達に応じて3種類のコマを用意しています。

年少児は、誰でも簡単に回すことのできる手回しゴマで遊んでいます。コツが分かり、自分で回せたうれしさや楽しさを感じると、大好きな保育者や周りの幼児と一緒に繰り返し遊んでいます。

年中児は、引きゴマです。紐の片方を手で押さえ、紐をコマの軸に巻き付けます。軸の上部を持って紐を勢いよく引き、そっと床に置くとコマが回ります。年少と違い、コマに紐を巻き、水平に紐を引くという動作が入ってきます。初めは紐を巻きつけることに苦戦しますが、「面白そう」という思いがあるからこそ、繰り返し取り組み、紐の巻き方を身に付けています。また、紐を引く力が弱いとコマの回転が止まってしまうのですが、強く紐を引くと長く回ることが体験を通して分かったと力強く紐を引きコマを回していました。

そして年長児のコマは投げゴマです。コマの紐をコマの裏側にきつく巻き付けていきます。そして、紐が巻き終わると、緩まないように片手で持ち、水平に投げます。年長児のコマは、紐を巻くことや投げることなど、いくつかうまく回すためのポイントがあり、年少・年中のコマと比べて難しいのですが、何度も挑戦することで、紐の巻き方や投げ方の感覚を掴み、回せるようになります。

先日、友達が投げゴマを回せるようになった姿を見て、ある幼児が「自分も投げゴマを回せるようになりたい!」と、練習を始めました。その姿を見て「おいしい!もう少して、回りそうだね」「頑張れ」と励ましてくれる友達がいることで、何度失敗しても、粘り強く何回も挑戦していました。また、保育者も幼児の「悔しかった」という思いに共感したり、「難しいけど何度も取り組んでいるね」「さっきよりも紐を引くタイミングが合ってきたね」と幼児の姿に着目して声を掛けたりすることで、幼児の諦めない力や自己肯定感、失敗を恐れずに挑戦する勇気などを育てています。

子供園では、今後も幼児の『諦めない力を育てる』ために環境や声掛けなどを工夫し、幼児の「やりたい」と思う姿を支えていきます。

☆子どもたちの様子と今月のねらい☆

3 歳児らっこ組

♡子どもたちの様子♡

コマの回し方にコツを掴み始めて「回った」という嬉しさを感じ、回ったことでビニールテープをつけて回してみたり、コマに洋服を着せてみたりして繰り返しコマで遊ぶことを楽しんでいます。かるたや絵合わせなどの簡単なルールのある遊びにも取り組んでいます。

着替え袋の扱い方や食後のうがいなど、進級に向けて3学期から取り組み方が変わったことも、保育者の援助を受けながら自分でやってみようとするようになってきています。

今月は、子どもたちが絵本に出てくる動物になりきって、動いたり、楽器を鳴らしたりして学級みんなで行うことが「楽しかった」と思えるようにしていきます。

☆今月のねらい☆

○自分の思ったことや感じたことを動きや簡単な言葉、形にしながら遊ぶことを楽しむ。

○保育者や学級のみんなと一緒にお話の中の役になって動いたり、楽器を鳴らしたりすることを楽しむ。

○生活の流れの中で必要な身の回りのことを自分でしようとする。

◆おすすめ絵本◆

『おにはそと』 せなけいこ：作・絵 / 金の星社

『つのはなんにもならないか』 きたやまようこ：作・絵 / 偕成社

4 歳児ぺんぎん組

♡子どもたちの様子♡

いるか組とお休み調べの引継ぎも始まり、いつ一緒にできるのかを楽しみにしたり、どんなことをするのかと興味をもって見たりする姿が見られます。遊びの中でも、「いるか組みたいにお客さんをお呼びたい！」とチケットをつくったり、そこにいるか組やらっこ組を招待したりし、憧れのいるか組をまねて遊べるようになったことに喜びと自信を感じるようになってきました。

コマ回しも、着せ替えの紙に色を塗れるようになったことで、「もっと素敵な色にしたい。」「紙を乗せて回してみたい！」と難しいことにも挑戦し、出来るようになった嬉しさを感じています。

今月も、小さな『できた』を積み重ねていくことで、一人ひとりが自分に自信をもち、進級に向けての期待感をもてるようにしていきます。また音楽会では、楽器の音やいろいろな鳴らし方の面白さを感じながら、みんなと一緒に鳴らす心地よさを感じられるようにしていきます。

☆今月のねらい☆

○自分の思いを友達に伝えたり、友達の話を聞いたりすることで、遊びが楽しくなることを感じる。

○曲やリズムに合わせて楽器を鳴らすことを楽しみ、友達とのつながりを感じる。

○遊びや生活に必要なことを友達と一緒に進んで取り組もうとする。

◆おすすめ絵本◆

『おなかのなかにおにがいる』 小沢孝子：作 / 西村達馬：絵 / ひさかたチャイルド

『フレデリック』 レオ・レオニ：作 / 谷川俊太郎：訳 / 好学社

5 歳児いるか組

♡子どもたちの様子♡

12月のおたのしみかい、獅子舞鑑賞など、行事で見たことや経験したことをすぐに遊びに取り入れようとする姿があります。自分たちも楽器を演奏したり、獅子舞を作って踊ったりする姿を、異年齢の幼児に楽しんでもらうことも、嬉しく感じているようです。投げゴマや竹馬、縄跳びなど、自分の頑張りたいことを見つけ、繰り返し挑戦することも楽しんでいます。「ちょっと難しいな」と感じることも粘り強く頑張れるようになってきました。友達同士で、コツを教え合ったり、励まし合ったりしながら取り組んでいます。

修了に向けた取り組みも少しずつ始まっていきます。これまで楽しかったことを振り返りながら、友達とのつながりを感じ、就学を楽しみにすることができるよう支えていきます。

☆今月のねらい☆

○自分のめあてに向かって繰り返し挑戦する楽しさや達成感を味わう。

○自分や友達の得意な面やよさに気づき、活かし合いながら遊ぼうとする。

○修了に向けた活動を通して、自分の成長を感じたり、就学への期待感をもったりする。

◆おすすめ絵本◆

『だいくとおにろく』 松居直：再話 赤羽末吉：画 / 福音館書店

『おしゃべりさん』 さいとうしのぶ：作 / 絵 リーブル